

千里の風

NO. 1.
2013年度歴史教育者協議会
全国大会（大阪）
大会速報「千里の風」
編集・発行、現地実行委員会

ようこそ暑く熱く燃える大阪へ

～今大会テーマ～

「地域に根ざし、
平和をきずく歴史教育」



（大山古墳）

で作り上げた平和で民主的な社会を破壊していこうとする動きが起きています。教育に眼をうつしても、特定の教科書会社の教科書を現場に圧力をかけて不採択にするような教育委員会の策動が各地で置き、看過することはできません。しかし、一方でそういった問題に対して繋がりあって新たな運動を作り上げる力も育ってきていることは大きな前進だと思います。

難しい話の後は、大いに交流

こうした状況のもとに開かれるのが今年の大会です。この大会に集う私たちが、社会科に携わるものとして子どもたちの未来のために何ができるのかを大いに議論することに意味があると思います。

でも、難しいことを話し合った後は、各都道府県交流会や久しぶりに会う仲間と大いに食べ、飲み、お互いの日ごろの健闘をたたえあってください。

現地実行委員会メンバーは力をあわせて、大阪での大会の成功のために奮闘してまいりました。大阪での大会がみなさまにとって意義のあるものとなると確信しています。

現地実行委員会事務局長 平井美津子



24年振りの大阪大会

前回は全国大会初の ワープロ打ち速報発行

前回の大阪大会は、1989年8月に第41回大会として大阪市で開催されました。

実に、24年振りにこの大阪の地に全国大会を迎えることができました。

前回の大阪大会の時に、全国大会の速報としては初めてワープロで作った速報を発行しました。見出しのレタリングは手書きで、本文はワープロ打ちという体裁でしたが、多くの方に読みやすいと好評をいただきました。



手書きの速報は、同じ人がすべて作ることはできないので、速報ごとに時には同じ速報の中にも全く違う手書き文字が混在していました。以前はそれが当たり前でした。

前回の大阪大会の最後の閉会集会で、「手書き文字の方がいいという人」と「ワープロ打ちの方がいいという人」という質問をして、挙手でアンケートをとったら若干「ワープロ打ちの方がいい」という人が多かったことを思い出します。

メールも、ネットもあるけれど…、 とりあえず速報は出します

あれから24年。

時代は今やインターネット時代に入り、速報もメールアドレスを登録してもらってメールで出すとか、ホームページかブログを作って見てもらうという形も可能だという意見もあるのですが、とりあえず速報は出すことになりました。

ただやはり時代を反映して、大阪の現地実行委員会も高齢化の波に逆らえず、前回と同じようなメンバー（前回より24才老けた？）が担当します。

速報も凝った作りを追求せずに、参加者への最低限の情報提供+αという速報になります。御不満とは思いますが、三日間よろしく願いいたします。